

しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2021年4月号（通算第61号）

子どもとの Q&A（疑問や質問のある子は素晴らしいです！）

Q：ぼくは、きれやすくて、困っています。どうしたらきれなくなりますか？（小6男）

A：自分のことが分かっていることは素晴らしいです。そして、「キレル」ことが良くないことに、気づいていることも素晴らしいです。でも、「キレル」と、友達が「いやな気持ち」になって、一緒に遊んだり楽しく話したりすることがしにくくなります。

そこで、次のことに気を付けて、自分のいい面を知ってもらい、友達と仲良くするために、「キレル」ことを減らしていきましょう。君ならきっとできるよ。うまくいかなかったらまた連絡してください。

○友達の話は、最後まで聞いて、それから自分の話をしましょう。○反対意見を言う時も、大声を出したり、怒ったりしないで、普通の声で、ゆっくり話しましょう。○友達のいい所を見つけて、認めてあげましょう。○人間なので、おたがいにちがうのは当たり前と思ひましょう。



大人との Q&A（パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！）



Q：私は、ママ友の勝手なことが許せず、つい喧嘩をしてしまいます。どうしたらいいでしょうか？（小3女子の母）

A：実は私も若い頃はそうでした。「文句言う之介」と陰口を言われていました。でも今は「温厚な人（歳を取って、元気がなくなった?）」と言われるようになりました。

私が心掛けたのは、「自分は自分、他人は他人」と考えて、違うのは「価値観の違い」だと思うようにし、よほどのことが無ければ、聞き流す、見過ごすようにしました。これは結構効果がありました。最近、脳科学者の中野信子著「人は、なぜ他人を許せないのか?」という本を読みました。図書館で目にしたらざっと読んでみましょう。役立ちますよ。

学校の先生がたの Q&A（先生にもわからないことがある！）

Q1：子供に敬遠されているように感じています。どうしたら子供との人間関係がうまくいくでしょうか？（小5の担任教師）

A1：その気持ち、よく分かります。私にもそのような経験があります。先生はきっとまじめで、子供たちをより良くしたいと頑張っているのですね。素晴らしい先生です。でも、子供からすると、あれこれ「文句ばかり言っている先生だ!」と思われて敬遠されているのかもしれない。そこで、暫くの間、「良い所を見つけて褒める」「頑張っていたらうまくいなくても認める」「進歩したら認め、褒める」ということにして、「生命やけが、いじめや人権侵害」に関すること以外は、寛容にしてみてください。3か月続けたら「先生～～!」と子供が寄ってくるようになると思います。それから、うまくいっている学級の担任と子供たちの関係を（そっと）観察して、「これだ!」と思ったことを真似してみてください。普通に頑張ってください。👉 Q2とA2が裏面にあります。





Q2 : 4月から校長になりました。子どもや教職員、保護者などに話すことに困っています。何か、いい雑誌があったら紹介してください。(新任小学校長)

A2 : 私も困り、悩みました。今も発行されているかどうかわかりませんが、私が参考にして助かった月刊誌を紹介します。ただし、そのまま使うのではなく、あくまでも参考にして、「自分流」を確立してください。これからの校長先生は、

学校運営や教育活動に加えて、危機管理が求められます。「子供たち」や「教職員」のために頑張ってください。

「教育展望」(学校経営や教育活動の動向や情報) 一般財団法人教育調査研究所、「プリンシパル」(児童生徒向け、教職員向け、保護者向けの講話の仕方と例話) 学事出版、「教職研修」(教育の動向や情報及び教職員の研修) 教育開発研究所、「総合教育技術」(学校運営や教育活動のポイント) 小学館、「道徳と特別活動」(道徳教育と特別活動のポイントと実践例) 文溪堂などです。(註: ネットで最新号を検索し、検討してください) (HK)

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A (皆様からの質問をお待ちしています)」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会」の利用の仕方など様々な情報が閲覧できます。ぜひご覧ください。